



プレスリリース

2026 年 9 月 11 日

マレリ、FIM レーシング・モーターサイクル・ミュージアムで 電子制御技術の展示を通じてモーターサイクル・レースの歴史を祝う

世界最高峰の二輪レースを支えてきたマレリの電子制御ユニット（ECU）の系譜を紹介し、モータースポーツにおける電子技術とデータ活用による性能向上の進化をたどる

マレリは、モーターサイクル・レースの歴史を紹介する施設として一般公開された **FIM レーシング・モーターサイクル・ミュージアム** と提携し、世界有数の二輪レース選手権向けに開発してきた **電子制御ユニット（ECU）** の数々を提供しました。

常設展示の一環として設けられたマレリの展示コーナーでは、現代のモーターサイクル・レースの発展を支えてきた電子制御技術の役割に焦点を当てるとともに、長年にわたるマレリのモータースポーツへの取り組みを紹介しています。

スイス・ミエにある国際モーターサイクリズム連盟（FIM: Fédération Internationale de Motocyclisme）によって設立されたレーシング・モーターサイクル・ミュージアム（RMM）には、黎明期の名車から最新マシンまで 40 台を超える公式レース車両が展示されています。来館者は、「サーキットレース」「モトクロス」「エンデューロ」「ラリー」「トライアル」「トラックレース」「電動バイク」の 7 競技を含む 9 つのテーマゾーンを巡りながら、モーターサイクル・レースの歴史を体験できます。

展示は「Heroes（英雄たち）」「Technologies（技術）」「From Race to Road（レースから公道へ）」という 3 つの柱で構成されており、サーキットでの勝利を支えてきた技術革新や装備、エンジニアリングの進歩にもスポットライトを当てています。

ミュージアム内のマレリ展示エリアは、「Everything is Detectable - Electronics（すべては検知可能 — エレクトロニクス）」と題され、マレリがこれまで開発してきた象徴的なエンジン制御ユニットを紹介しています。これらの展示を通じて、卓越した技術力と継続的なイノベーションがさまざまな二輪レース・カテゴリーを支え、マレリのモータースポーツ事業の成長を後押ししてきた歩みを伝えています。

マレリでモータースポーツの責任者を務めるリッカルド・デ・フィリッピ は次のようにコメントしています。「モーターサイクル・レースにおける卓越した成果を称えるこのプロジェクトにおいて、FIM と協力できることを大変光栄に思います。私たちは長年にわたり、技術の進化を通じてこの世界に関わり続けてきました。レーシング・モーターサイクル・ミュージアムへの貢献を通じて、電子制御技術とイノベーションがレースの舞台裏で果たしてきた重要な役割を紹介し、モーターサイクル・レースの歴史と未来の形成にどう寄与しているのかを広く伝えられることを嬉しく思います。」



また、**FIM マーケティング&デジタル・ディレクターのファビオ・ムネル氏**は次のように述べています。

「FIM レーシング・モーターサイクル・ミュージアムのパートナーとしてマレリを迎えることができ、大変嬉しく思います。来館者は、この専用展示を通じて、高度な電子制御技術がFIM 世界選手権におけるレース・パフォーマンス、安全性、そしてイノベーションにどのように貢献しているかを知ることができます。マレリの参加は、現代モータースポーツに欠かせない重要な技術的側面を来館者に分かりやすく伝えるとともに、ミュージアム体験全体をより豊かなものにしています。」

マレリの展示エリアには、来館者がサーキット走行を疑似体験できるインタラクティブ・コーナーも設置されています。制御ユニットの働きと車両挙動の関係を視覚的に理解できるグラフィック展示に加え、デジタル・ダッシュボードを通じて展示製品の技術的特徴や各選手権の歴史的写真を閲覧し、マレリの歩みをより深く知ることができます。

展示される ECU は、技術進化のタイムラインとして構成されています。

その始まりを飾るのが、2000 年代初頭に登場した MVL4 ECU です。複数のプロセッサを採用した初のモデルとして、トラクション・コントロール、アンチ・ウイリー、エンジン・ブレーキ制御、電子スロットル制御（Drive-by-Wire）といった高度機能の実現を可能にしました。続いて紹介される AGO-340 は、エンジンと車両制御を統合した超小型 ECU でありながら高い制御性能を備え、2014 年から 2023 年まで MotoGP で採用された重要なマイルストーンとなる製品です。さらに、REX-140 はデュアル-コア・マイクロ・コントローラを搭載したコンパクトかつコスト効率に優れた ECU で、Moto2 や耐久レース、特別シリーズに適したソリューションとして活用されています。その隣には、過酷なオフロード環境向けに設計された兄弟モデル REX-120 が展示されています。REX-120 は伝説的なダカール・ラリーをはじめ、多数の選手権制覇に貢献した実績を持っています。そして最後を飾るのが BAZ-340 ECU です。MotoGP で 10 年以上にわたり蓄積された開発成果を基盤とし、2023 年から選手権で採用されています。AGO-340 を発展させたこのモデルは、より高度な制御戦略と高速通信を実現するために演算性能が大幅に強化されており、マレリの最新世代のモータースポーツ制御技術を象徴する製品となっています。

訳注：当文書は 2026 年 9 月 10 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて

マレリは自動車業界をリードするグローバルなモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモビリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約 40,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに 150 以上の施設と研究開発センターを有しています。